

千葉観光課 13 銚子

登場人物

田宮（30代） 千葉県の外国人向け観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗る気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

その他 外人達

シーン1：観光課のオフィス

（田宮がデスクに座って仕事をしている。ボブが陽気に入ってくる。）

ボブ：おはよう、田宮！今日も楽しく行こうぜ！

田宮：おはよう、ボブ。実は、県から新しいミ

ツシヨンが来たんだ。

ボブ…おお！どんなミッションだ？

田宮…銚子の観光客の数を増やすんだって。

ボブ…銚子か…魚が新鮮で大きいし、醤油も盛んだね。いいところじゃないか！

田宮…そうだね。でも、どうやって外国人にアピールするかが問題なんだよ。

シーン ♪ アイデア出し

（田宮とボブがホワイトボードの前で話し合っている。）

ボブ…田宮、何かいいアイデアはあるか？

田宮…うーん、まずは醤油工場見学をさせて、マイ・醤油をゲットさせるってのはどうだろ

う？

ボブ…それは面白い！そして、その醤油を使って鮎子の寿司屋を巡るツアーにするんだ！

田宮…うん、それなら新鮮な魚と自分だけの醤油で特別な体験ができるね！

シーン 3: 醤油工場見学

(工場の中、外国人観光客が興味津々で見学している。工場スタッフが説明する。)

工場スタッフ…こちらが醤油の発酵タンクです。ここでじっくりと発酵させます。

観光客 B: (カメラを構えながら) これはすごい！写真を撮らせて！

観光客 A: (興奮気味に) 自分だけの醤油を作れるなんて、最高だね！

観光客 ☹️ (鼻をくんくんさせて) この香り、
信じられないくらいいいね！

観光客 ♪ (笑顔で) これで私も日本の食文化
の一部になれた気がするよ！

(観光客たちはそれぞれマイ・醤油を手に入
れる。)

観光客 ☹️ (手に持って) これが私のマイ・醬
油か：家族に自慢しよう！

観光客 ☹️ (ボトルを振りながら) この醤油、
きつと何にかけても美味しいはず！

シーン ♪ 寿司屋巡り

(田宮とボブが観光客を連れて銚子の寿司屋
を巡る。)

ボブ…さあ、みんな！自分だけの醤油を使つて鮎子の寿司を楽しもう！

観光客 ☹️ (マグロを一口食べて) このマグロ、最高に美味しい！自分の醤油が完璧に合うよ！

観光客 🙄 (感動して) 醤油の味が違うだけで、寿司がこんなに変わるなんて驚きだ！

観光客 😂 (笑いながら) これ、家に持って帰りたいな！

観光客 📷 (カメラを向けて) 友達に見せたら、絶対に羨ましがるね！

観光客 🗣️ (大きな声で) 鮎子の魚と自分の醤油、これ以上の組み合わせはないね！

観光客 🍣 (口いっぱい寿司を頬張りなが

ら）毎日こうやって食べたい！

シーン⑤：結末

（観光課のオフィスに戻る田宮とボブ。）

ボブ…田宮、今日のツアーは大成功だったな！

田宮…うん、みんな楽しんでもくれて良かったよ。

ボブ…次はどこに行こうか？楽しいアイデアをどんどん出して、千葉をもっと盛り上げようぜ！

田宮…そうだね、ボブ。次のミッションも楽しみにしてるよ！

（⑥人が笑顔でハイタッチをして、シーン終了。）

エンディング

（元気な音楽が流れる中、銚子の美しい景色と観光客の笑顔が映し出される。）

ナレーター…こうして、田宮とボブのアイデアは大成功を収め、銚子の観光客は増加した。次なる挑戦に向けて、彼らの冒険は続く…。

（音楽がフェードアウトし、幕が降りる。）

終わり